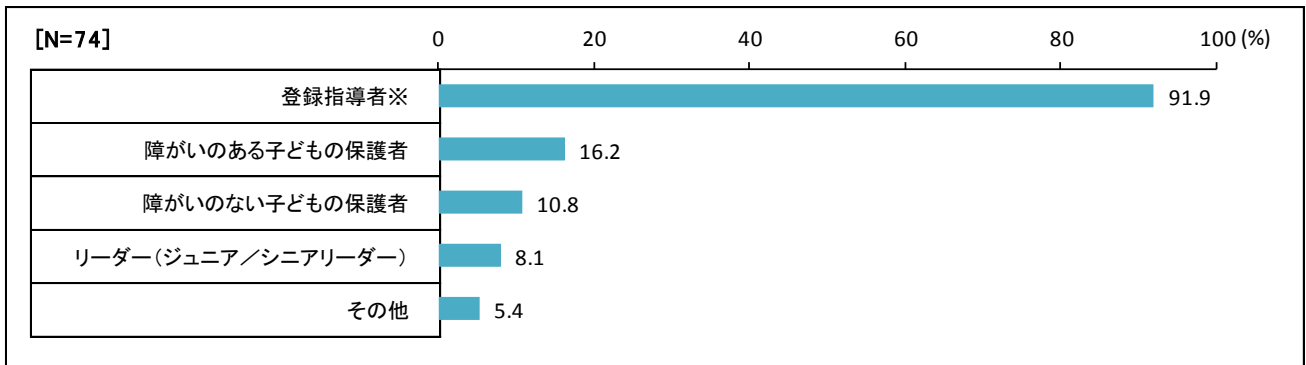


3. 障がいのある子どもの指導状況

(1) 障がいのある子どもの指導担当者

すべての単位団に、障がいのある子どもの指導担当者を複数回答でたずねたところ、「登録指導者」が91.9%である(図表 3-1)。次いで、「障がいのある子どもの保護者」(16.2%)、「障がいのない子どもの保護者」(10.8%)、「リーダー(ジュニア/シニアリーダー)」(8.1%)の順となっている。

図表 3-1 障がいのある子どもの指導担当者（複数回答）



※障がいのある子どもの保護者、障がいのない子どもの保護者に該当する者を除く

(2) 日本障がい者スポーツ協会の資格保有の指導者数

障がいのある子どもを指導している登録指導者のうち、日本障がい者スポーツ協会の資格を持っている指導者数をたずねたところ、「0人」(81.8%)が8割を占める(図表 3-2)。次いで、「1人」(12.1%)、「2人」(3.0%)、「3人」(1.5%)、「4人」(1.5%)と続く。

平均は0.3人であり、日本障がい者スポーツ協会の資格を持っている指導者は少数であった。

図表 3-2 日本障がい者スポーツ協会の資格保有の指導者数

